

産業保健総合支援センターの支援の内容 支援は**無料**です

相談対応

事業場や労働者からの両立支援に関する相談に、電話・メール・面談等により対応

セミナー・研修会

両立支援の普及・啓発を目的とした事業者等を対象とするセミナーや研修会を実施

個別訪問支援

両立支援の専門スタッフ*が事業場を訪問し、両立支援制度の導入や進め方などについてサポート

個別調整支援

医療機関と連携しながら、労働者・事業場・主治医が必要な情報・方針の共有ができるよう調整・支援

両立支援促進員等が支援します

※保健師、社会保険労務士などの両立支援の知識を有した専門家



「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」
をご活用ください。

厚生労働省では、治療と仕事の両立支援ガイドラインを公表しています。事業場で両立支援を行う上で参考となります。

厚生労働省ホームページからダウンロードできます

▶厚生労働省(治療と仕事の両立について)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000115267.html>



医療機関に出張相談窓口を開設しています (要予約)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| ■佐賀大学医学部附属病院 (がん相談支援センター) | ☎ 0952-34-3113 (直通) |
| ■佐賀県医療センター好生館 (がん相談支援センター) | ☎ 0952-28-1210 (直通) |
| ■唐津赤十字病院 (患者総合支援センター) | ☎ 0955-74-9135 (直通) |
| ■嬉野医療センター (患者サポートセンター) | ☎ 0954-43-1120 (代表) |

独立行政法人労働者健康安全機構 佐賀産業保健総合支援センター

まずはお気軽にお電話ください! ☎ 0952-41-1888

【ホームページ】 <https://www.sagas.johas.go.jp/>



事業者のみなさまへ

従業員が病気になっても安心して働き続けてもらうために



今、知ってほしい 治療と仕事の 両立支援

近年、治療技術のめざましい進歩や働く人を取り巻く環境の変化により、病気になっても仕事を辞めず働き続けることができるようになりました。今後、職場においても労働力の高齢化が見込まれる中、病気を抱えた従業員が治療を受けながら働く場面に直面することが増えると考えられます。従業員が安心して治療を受けながら働き続けるために、事業場としての取り組みが求められています。



独立行政法人 労働者健康安全機構

johas

佐賀産業保健総合支援センター

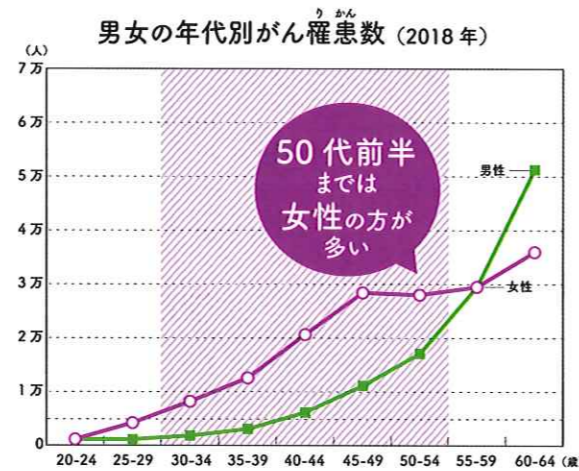
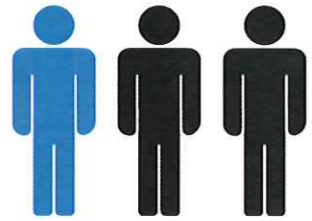
治療と仕事の両立支援とは…

病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある労働者が、適切な治療を受けながら生き生きと働き続ける社会を目指す取り組みです。

どうして両立支援が必要なの？

POINT 1 日本人の2人に1人が一生のどこかで、**がん**と診断される。

約3人に1人が
20～64歳の働く世代で
がんと診断されています。

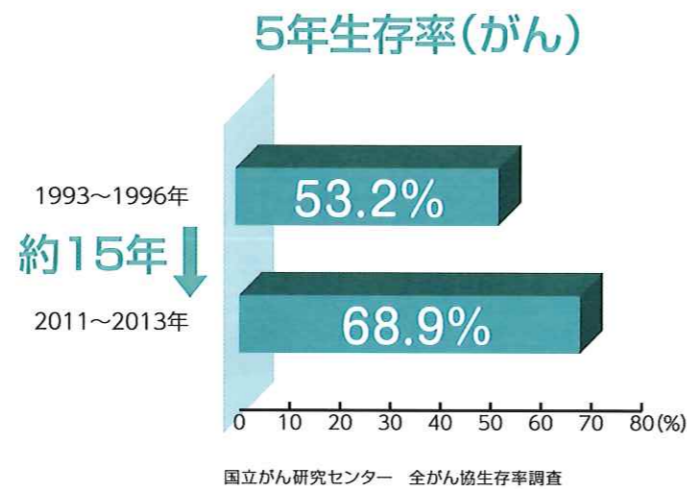


出典：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

出典：厚生労働省「2018年全国がん登録 罹患数・率 報告」

POINT 2 治療技術の進歩により、「不治の病」は「長く付き合う病気」に。

がん等の疾病においても
生存率が向上し、労働者が
病気になったからと言って、
すぐに離職するという状況が
必ずしも当てはまらなくな
っています。



POINT 3 「治ってから復職」ではなく「治療しながら働く」へ。

仕事をもちながら
がんで通院している人の数は、

45万人

出典：「2019年国民生活基礎調査」に基づく推計



両立支援は事業者にとっても重要！

POINT 4 治療と仕事の両立を支援することは、労働者のみならず事業者にとっても、大きなメリットがあります。



事業者のメリット

- 人手不足への対応
- 就労意欲と能力の高い人材確保
- 企業イメージの向上
- 求人、採用時のイメージUP!
- 労働者のモチベーションの向上による人材の定着・生産性の向上

労働者のメリット

- 治療を受けながらの仕事の継続
- 収入を得ること
- 治療に関する配慮が行われることによる病気の増悪の防止
- 安心感やモチベーションの向上

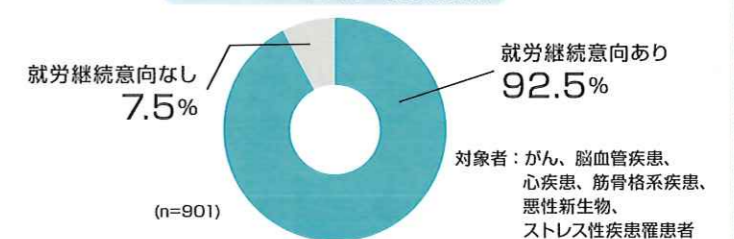
POINT 5 がんなどの病気を抱えながらも多くの人は働きたいと思っています。



【理由】

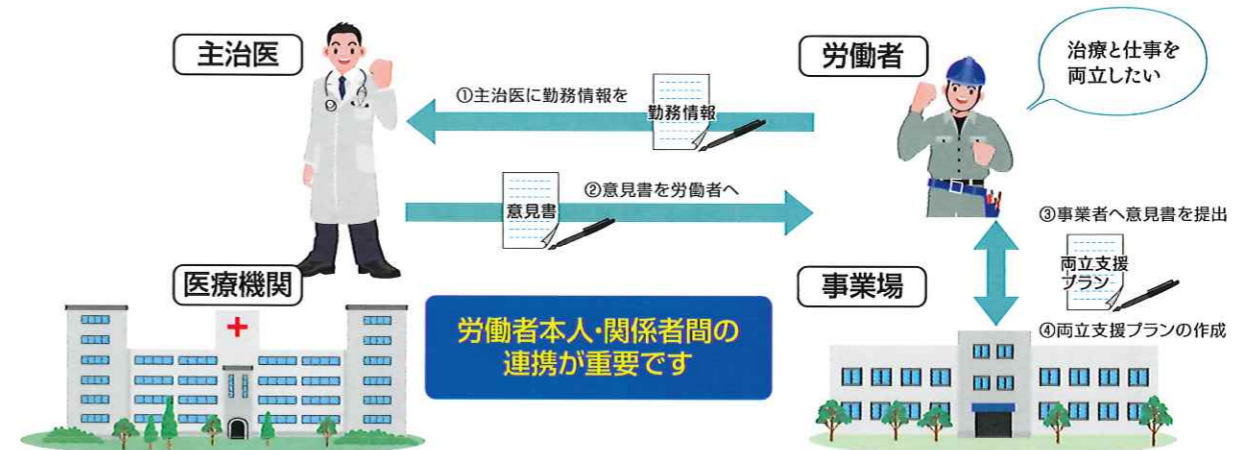
- ◆ 家庭の生計を維持するため
- ◆ 働くことが自分自身の生きがいであるため
- ◆ がんの治療代を賄うためなど

がんなどの患者の就労意向



出典：「治療と職業生活の両立等の支援対策事業 アンケート調査」 2013年9-10月（厚生労働省委託 みずほ情報総研）

両立支援の基本的な進め方



※「勤務情報」や「意見書」などの様式は厚生労働省HP「治療と仕事の両立について」よりダウンロードできます。